

1970→2025

ー紛争から考えるー 調和のとれた社会とは

参加費無料
手話通訳あり

日時 2025年6月28日(土) 10時～正午 (受付開始:9時30分)

場所 吹田市文化会館(メイシアター) 中ホール

※ご来場の際は公共交通機関でお越しください。

〒564-0041 大阪府吹田市泉町2丁目29番1号

申込 6月20日(金)までに右記にアクセス、または吹田市電子申込システムからお申込みください。先着450名。



1970年大阪万博当時から、技術はめまぐるしく「進歩」しましたが今もなお、世界各国では、紛争がおこっています。人と人、国、民族、宗教などの「調和」はどのようにして図られているのでしょうか。紛争の実態や背景、そして紛争解決に必要なことをとおして調和のとれた社会とは何かを問うシンポジウムです。

ファシリテーター

吹田市長 後藤 圭二

スピーカー



大阪大学 名誉教授

松野 明久 氏

専門は国際政治、紛争研究。インドネシアと東ティモールを主たるフィールドとしつつ、世界各地の紛争(北アイルランド、パレスチナ、西サハラ等)を研究。テーマは自決権、大量殺害、移行期正義等。主著は『東ティモール独立史』。国連東ティモール派遣団(住民投票ミッション)スタッフ、東ティモール受容真実和解委員会アドバイザーを務めた。



日本財団国際事業部 シニアオフィサー

堀場 明子 氏

日本財団国際事業部シニアオフィサー(笹川平和財団から出向中)。立教・法政大学などで非常勤講師。衆議院議員政策担当秘書などを経て現職。上智大学にて博士号(地域研究)取得。専門は紛争分析、平和構築、東南アジア(インドネシア)地域研究。



大阪女学院大学 国際・英語学部 教授
大学院 21世紀国際共生研究科長

奥本 京子 氏

平和紛争学、紛争転換学、ファシリテーション研究など。東北アジアを中心に、芸術アプローチで平和教育・トレーニングの実践を行う。ワークショップ・スタイルによる関係性の深化が可能かの追求や、市民社会・NGOによる平和活動を実践している。

特別ゲスト



在日スイス大使館 公使

ダビッド・ブラウン 氏

スイス外務省にて長年にわたり欧州およびアジア太平洋地域を中心に要職を歴任。ロンドンでは経済部次長として多国間交渉に携わり、北京では経済・金融・商務部長として中国との二国間関係を担当。その後、アジア太平洋局・東アジア課課長としてスイスの対アジア政策に貢献し、2022年、在日スイス大使館公使に就任。

注意事項

- ◆ 中止の場合は、吹田市のホームページに掲載いたします。
また、当日の内容は、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。
- ◆ 障がい等の理由により、特別な配慮が必要な場合は申込時にご入力または事前にお申し出ください。
- ◆ 当日は記録用、広報用の写真や動画の撮影を行う予定です。映り込む可能性があることをあらかじめご了承ください。
差しさわりのある場合には、事前にお申し出ください。

問合せ

吹田市 都市魅力部 シティプロモーション推進室

TEL: 06-6318-6371 FAX: 06-6384-1292

MAIL: banpaku@city.suita.osaka.jp

主催



協力

Schweizerische Eidgenossenschaft
Confédération suisse
Confederazione Svizzera
Confederaziun svizra
Embassy of Switzerland in Japan
スイス大使館

